



教育長

工 ツ セ イ

教育長 宮下 和己

「本を読む」

読書の大切さはよく言われますが、皆さん、本は読んでいますか。この冊子の6ページに、テレビゲームや携帯電話の使用が2時間以上という子供たちの多いことが指摘されています。これでは、とても本を読む時間は…。

福澤諭吉氏は、「学問のすすめ」の中で、「読書は学問の術なり、学問は事をなすの術なり」と書いています。本を読むことの大切さ、学問の必要性、そして学ぶこ

との意味を説かれていると思います。一方、今日の学問はというと、あらゆる面で分化し、専門化し、技術化しており、ともしれば、大局的にものを見ることを見失いがちになることが心配です。将来を生きる子供たちには、ぜひとも、視野の広い識見の高い人間、「高い教養」をもってほしいと思います。

教養とは、学問によって育成されることが大きいのですが、単なる「物知り」ということではありません。これからの新しい時代に求められる教養とは何か。それは、「変化の激しい社会にあって、地球規模の視野、歴史的な視点、多面的な視点で物事を考え、未知の事態や新しい状況に的確に対応していく力」とも言われています。なかなか大変なことですが、高い教養を確かなものにするためには、生涯を通じて学び続ける力が求められま

す。そして、傍らには常に本があるので

す。皆さん、本に親しみ、知識と智恵を授かり、先人の様々な人生に触れてみましょう。本を通して世界が広がり、それぞれの歩むべき道が見つかるかもしれません。そして、人生にも節目があります。ちょっと辛い時、苦しい時、あるいはターニングポイントに立った時、人生を歩む道すがらに、人は「言葉の持つ力」に励まされたり、進むべき方向を指し示してくれることが必ずあるのです。人生を歩む道すがらに、人と人の素晴らしい出会いとともに、多くの本と言葉に巡り会ってほしいものです。

本から知識を得る、人から現場から知恵を授かる、体験で本当の姿を知る。それらが互いにうまく作用しあって、生きていく力が身に付くのではないのでしょうか。

先生

がんばってます!



「子供の命を守る取り組み」

にし ざき たか ひろ
県立みくまの支援学校 西崎 貴大 先生

熊野灘を近くに望む新宮市蜂伏の丘にある「みくまの支援学校」に勤務する西崎貴大先生。今年、同校で11年目の勤務となります。中学部3年生のクラス担任として、いつも元気に大きな声で子供たちと関わりながら、笑顔が絶えないクラス作りをめざしているそうです。

みくまの支援学校のある地域は、南海トラフに近く、地震発生時には激しい揺れと津波の襲来による甚大な被害が想定されていることから、学校では大規模地震から身を守るための様々な取り組みを行っています。今年度、新たに発足した「学校防災プロジェクト」のリーダーとして、校内施設の安全化や避難訓練、子供たちへの防災教育などで大きな役割を担っています。

西崎先生たちは、教職員全員による災害演習を企画し、何度

も繰り返し実施したそうです。学校では、教室や廊下の安全な場所に青いマットを敷きセーフティゾーンを設置、緊急地震速報時に避難する場所をわかりやすくしました。子供たちが先生と一緒にセーフティゾーンに避難し、低い姿勢を取り、先生が子供たちをかばう格好で取り囲むことで、落下物や家具の転倒から子供たちを守り、子供たちの不安な気持ちも減らすことができるそうです。

「地震がきたら青いところ(青いマット)へ」を合い言葉に、迅速に避難できるよう訓練を重ねています。

近い将来、起こりうるであろう東海・東南海・南海地震、または、南海トラフ地震に備えるため、学校防災プロジェクトのリーダー、西崎先生を中心に教職員が一丸となって、みくまの支援学校が掲げる「子供の命を守る取り組み」が充実していくことを期待しています。



教育テレビ番組 はばたく紀の国 ～教育は今～

第1・3日曜日の午前10時30分～10時50分にテレビ和歌山で放送しています。



- 9/20 ● 風になれ 今 青春が走りだす～2015 インターハイを振り返って～
- 10/18 ● 弘法大師を想い、高野山を訪ねる!
～高野山開創1200年記念特別展「弘法大師と高野参詣」～
- 11/1 ● 自然災害への備え～遺跡からの警告～
- 11/15 ● すべての子どもに豊かな教育を!～特別支援教育の更なる充実～
- 12/6 ● 躍動と歓喜、そして絆
～紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を振り返って～
- 1/17 ● 文化財を未来に伝える～建造物の保存・修復～
- 2/7 ● 未来へ、生き生き、子どもとともに!～学び続ける教員、奮闘記～
- 2/21 ● 子どもたちに本の魅力を!～ビブリオバトルなど様々な取り組みを通して～
- 3/6 ● 和歌山・海プロジェクト(ヨット体験)
～紀州っ子体力アップに向けた取り組み～
- 3/20 ● 和歌山の子どもに確かな学力を!
～和歌山県学力向上対策中期計画の実行～

※すべての番組に手話通訳がつかます。
※番組内容、放送時間は都合により変更する場合があります。

定期便 教育の窓

学校や地域の特色ある取り組みなどを取り上げながら番組を制作し、和歌山放送で放送しています。

放送日時 第2、第4土曜日 8:45～9:00

本年度、第13回～第18回放送予定

- 11/14 ● 串本西中学校「スクールバス避難訓練」
- 11/28 ● 地域で進める人権学習～人権学習ファシリテーターと参加体験型人権学習～
- 12/12 ● 「きのくに県民カレッジ」の取組の紹介
- 1/23 ● 地域に根ざした図書館をめざして
- 2/13 ● どの子も満足する学校の実現に向けて～Q-Uを活用した学校の取組～
- 2/27 ● 橋本市立あやの台小学校の「総合的な学習の時間」の取組
～地域に根ざしたあやの台カリキュラム～

※都合により、放送内容が変更になる場合があります。



※テレビ・ラジオとも、これまで放送した番組については、和歌山県教育委員会のホームページで公開しています。ぜひ、ご覧ください。

和歌山県教育委員会事務局 総務課

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL.073(441)3641 FAX.073(432)4517

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

和歌山県教育委員会

検索

